

このような「本」ができました

平成29年6月、タイトルを『日本再発見紀行』—平成の今を伝えるころの旅路— とする本を刊行しました。全国77か所を取り上げ、当地に縁あるDF会員55名が「くに誉め」「ふるさと自慢」の蘊蓄を傾けています。本の仕様は、手ごろな四六判、口絵はカラーの4ページ、本文は230ページ、定価1,200円（本体）です。



■そもそも

この本の出版に至った経緯を少し振り返ってみましょう。観光立国研究会では、国の観光立国政策、観光による地域振興策が展開されていることを背景に、我が国の産業をテーマとした観光メニューを開発しようではないかと議論してきました。その過程で、「有名観光地ではないがこれが日本だ」「日本にはこんな素晴らしいところがある」「これを本の形にまとめよう」、ということになりました。じっくりと一冊の本の形にまとめることは価値があると考えました。

昨年（平成28年）4月、早速、この企画をまとめて全会員の皆様に広く声をかけたところ、趣旨に賛同された55名の会員が手を挙げられました。

本作りのプロセスは、企画・編集・造本設計・校正・印刷・製本という過程を経て出来上がります。企画段階では、皆さんに発刊の趣旨、テーマ、内容のレベルや重点、制作費用などをお知らせしました。

■原稿作成

本作りには、取材費用も含め、お金がかかります。参加費用の形で各自37千円を拠出し合って制作費を捻出しました。

原稿締切は9月、いろいろな原稿が出てきました。これは読んでいて面白いと編集者が評価した「大坂狂詩曲」。故郷自慢の数々を「うどん県いりこだ市」（香川県）とタイトルにまとめ上げたものがある一方、その地の観光スポットを箇条書きにした原稿もありました。

「旅の本」ということで、錯覚されてこのよ

推薦の言葉

本書は、読めば全国の平成の今を行脚している気分になります。観光で地方の活性化に取り組んでおられる人、地域おこしに興味があり、何らかの形で携わっておられる人々に、特にお勧めします。

一流の企業などで幹部の仕事をしてこられた筆者たちが精魂を込めて執筆したもので、書店でよく見かける旅のガイドブックのようなレベルではなく、七一の地域を鋭くえぐっています。だから、本書は、世代や趣味の違いを超えて読者の皆さんの知的好奇心を十分に満足させるでしょう。

自分が住んでいる地域の振興、創生を考えている人にも、またとない刺激を与えてくれると思います。住んでいる地域をアピールするのに、外部からの卓見や知識にふれるまで気がつかないことは、よくあるものです。本書は、それぞれの地域について、こうした卓見や知識を提供してくれるでしょう。

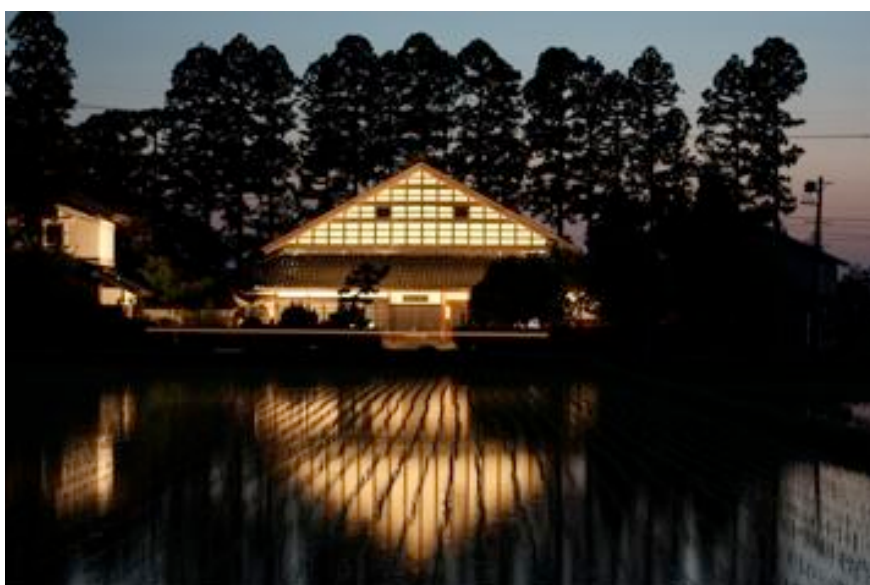
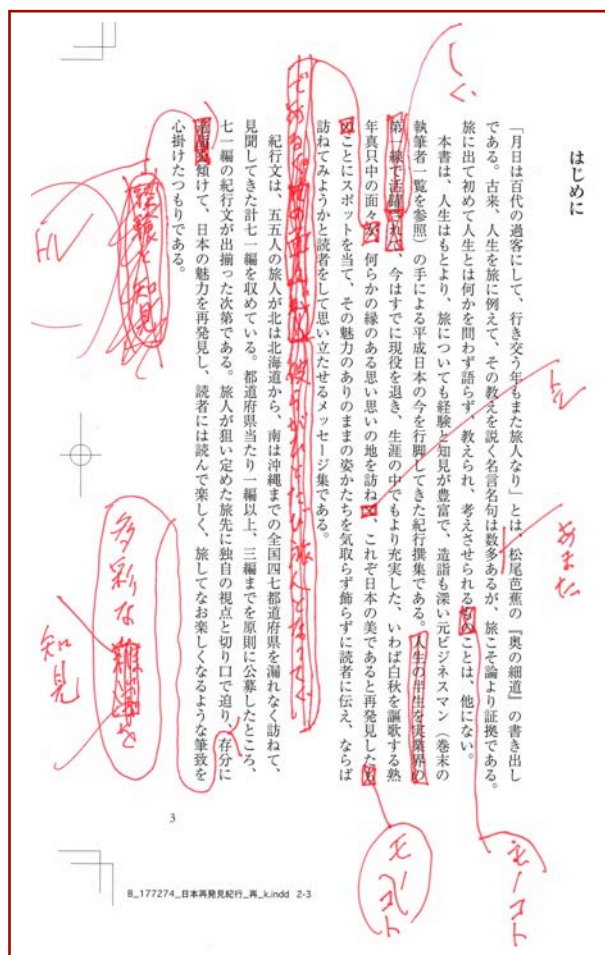
元観光庁長官 井手憲文

うな原稿を作られたのでしょうか。「粟国島」(沖縄県)の原稿など、高村さんしか書けない「サトウキビ経験記」を中心に離島の生活状況を書いてみては、とお願いしたところ、そんなことならと直ちに書き直されました。原稿によっては執筆者と編集者との間を2度3度往復し、内容が固まっていきました。

■編集作業と造本設計

原稿があれば本ができるわけではありません。内容と形式を整える編集作業に加え、本の形を決めねばなりません。一つひとつのこと全て合議で決めました。編集委員の間で経験と知識が開陳されました。例えば口絵の産業資本。「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録とあるが、これは非西欧の日本に西欧の産業革命施設が定着した成功モデルをいうのであって、上から目線(西欧からの見方)だなあ、との嶋矢さんの指摘。口絵「富山県散居村 植田と伝統家屋(写真下)」。ここの植田は、「うえだ」ではなく「うえた」と読むのですよ、と俳人の松本編集委員。

通常の旅の紀行文は、ひとりの人物が街道や各地を経巡めぐり、その地への心情や行動が事細かに描きます。私たちの旅の本は、複数の執筆者が日本各地を取り上げ、それぞれの視点で当地への思い入れを書き、全体で一つの本になっています。



■発売開始

6月から全国書店で発売開始。一番初めの反響は、石州瓦工業組合(島根県)からのもの。「よくぞ当地を取り上げてくれた。この本のことを組合報に掲載したい」。現役時代に当地の産業振興に汗を流された雨森さんの活躍があつてのことです。矢掛宿(岡山県)、漂流郵便局(香川県)なども、面白いところが書かれている、との反響がありました。この本の狙いどおりの反響です。

「行ったことがあるところ、知っているところをパラパラとめくって、どんなことが書かれているのだろう、と読んでみた」「売れそうにもないが内容は面白い」「本文は圧縮しすぎでもっと書いてもよかった」。出版して日は浅く、これからいろいろな読後感想が出てくると思います。本文3ページでは内容を圧縮しすぎのご意見なども次に生かしてゆきましょう。

執筆者の中には、自らおっしゃいませんが観光大使やら観光特使、口コミ大使など地方とのかかわりを持っておられる方が相当数おいでです。社業を通じて地元との良好な関係を築かれてきたことがこの本の出版で分かりました。

(高木健次)

文芸社の新刊・好評本

書籍のご注文はお近くの書店またはブックサービス0120-29-9625、ネット書店まで

1200円＋税 978-4-286-17727-4

日本再発見紀行

平成の今を伝えることこの旅路

一般社団法人 デイレクトフォース 観光立国研究会

北海道から沖縄まで、「日本の美」再発見

ビジネスマンOBの55人が綴る珠玉の71撰。平成日本の今を伝える心の旅路。



文芸社の新刊・好評本

書籍のご注文はお近くの書店またはブックサービス0120-29-9625、ネット書店まで

1200円＋税 978-4-286-17727-4

日本再発見紀行

北海道から沖縄まで、全国47都道府県の日本の美、再発見。

OB55人が綴る「日本の美」再発見

珠玉の71撰！

一般社団法人 デイレクトフォース 観光立国研究会

1200円＋税 978-4-286-17727-4

